

歴代宝案訳注本第11・13冊デジタル化業務委託仕様書

1. 本仕様書は、歴代宝案訳注本第11・13冊デジタル化業務委託業務に適用する。
2. 提供したJPG形式の画像データおよび訳注本第11冊（508頁）・第13冊（518頁）をもとにpdfおよびテキストデータを作成し、訳注本pdfに本文検索が可能になる透明テキストの貼り付けを行う。
なお、当該資料にはインデザインデータやテキストデータはない。
3. 文字入力は原則として底本どおりに行う。
 - ①テキストは横書きとする。
 - ②本文中のルビ、注番号、空白行はテキスト化の対象としない。
 - ③文字コードはUnicode (UTF-8) とする。
 - ④旧仮名遣いやカナなどを含め、原則として底本のとおりとする。ただし、漢字の異体字や外字等で底本どおり入力できない場合は当方と調整する（別途指示する）。
 - ⑤段落改行は底本どおりとする。
 - ⑥底本の1字アキは原則テキスト化の対象外だが、物品名・人名が列挙される場合は1字アキとする。但し姓名の間の1字アキは削除する。
 - ⑦割書は／（全角）を入れる。
 - ⑧文書番号、年代などの一、一、一、ハイフン - は、すべてダッシュ「一」（半角）とする。
 - ⑨納品形式はテキストデータとする。
4. 識字率は100%とする。OCRソフトを使用する場合は変換後の校正作業を綿密に行う。品質担保のため内校を徹底して行うものとする。
5. 8月中に中間報告を行う。
6. 成果品はCD（①テキストデータ〔文書毎にする〕、②pdfに透明テキストを貼り付けたもの）で納品する。
7. pdf貼り付け前に当方においてテキストデータのチェックを行う。
8. 成果品の納期は令和2年2月28日とする。
9. 瑕疵担保期間は成果品の納入後、検査職員による検査に合格した日から3年とする。
10. このほかの事項については、その都度、協議して調整するものとする。